

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月18日 (2008.12.18)

【公開番号】特開2007-159753(P2007-159753A)

【公開日】平成19年6月28日 (2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2007-024

【出願番号】特願2005-358525(P2005-358525)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月31日 (2008.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技店舗に設置され遊技店内の現金を入出金処理する売上金入金処理装置と、前記遊技店舗内に設置される一又は複数のフロア機器とが通信可能に接続された遊技店舗内現金管理システムであって、

前記フロア機器は、前記フロア機器への現金の補充／回収操作を行う者の操作者 I D 情報を読み取る I D 読取手段と、該読み取った前記操作者 I D 情報に基づいて前記補充／回収操作の実行を許可する操作実行許可手段と、前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む情報を送信する送信手段とを備え、

前記売上金入金処理装置は、前記操作者 I D 情報を読み取る I D 読取手段と、前記フロア機器から送信される前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報を受信する受信手段と、前記受信した前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報を記憶する記憶手段と、操作／表示部とを備えるとともに、

前記いずれかのフロア機器から回収した現金を前記売上金入金処理装置にて回収入金処理する際に、前記売上金入金処理装置の I D 読取手段で読み取られた前記操作者 I D 情報を手掛かりとして前記記憶手段に記憶されている前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報が前記操作／表示部に表示され、前記現金の回収後に入金処理を行うフロア機器が特定されると、該フロア機器から回収された現金の回収入金処理が行われ、該回収入金処理が終わると前記フロア機器の情報が前記記憶手段から消去されることを特徴とする遊技店舗内現金管理システム。

【請求項 2】

前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報には、さらに時刻情報を含み、

前記売上金入金処理装置は、さらに警報発報手段を具備し、前記記憶手段に残っている回収入金処理が未処理のフロア機器のうち、該フロア機器が操作された時刻から所定の時間が経過したものがあれば警報を発することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技店舗内現金管理システム。

【請求項 3】

前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報には、さらに時刻情報を含み、

前記いずれかのフロア機器に対して現金を補充する操作を行う際に、前記売上金入金処理装置の I D 読取手段で読み取られた操作者 I D 情報、前記操作／表示部から入力された補充対象の前記フロア機器の識別情報及び補充金額、並びに前記入力時刻情報が前記記憶手段に記憶されるとともに、

前記入力時刻から所定時間以内に、前記補充対象のフロア機器から、前記売上金入金処理装置で読み取られた操作者 I D 情報と同一の操作者 I D 情報、前記フロア機器の識別情報、及び前記フロア機器が操作された時刻の時刻情報が関連付けられて前記売上金入金処理装置に送信されなかった場合には警報を発することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技店舗内現金管理システム。

【請求項 4】

前記操作者 I D 情報は操作者が携帯する I C カードに書き込まれており、前記 I D 読取手段が I C カードリーダーライターであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技店舗内現金管理システム。

【請求項 5】

前記操作実行許可手段は、前記フロア機器の扉に設けられた解錠手段と、前記フロア機器の I D 読取手段と、前記フロア機器に設けられた記憶手段とを具備し、前記読み取られた操作者の I D 情報が、該記憶手段に予め登録されているいずれかの操作者 I D 情報と一致した場合に前記解錠手段によって扉の解錠を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の遊技店舗内現金管理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は現金詐取等の不正行為の抑止を図れるようにした遊技店舗内現金管理システムに関し、本発明の上記目的は、遊技店舗に設置され遊技店内の現金を入出金処理する売上金入金処理装置と、前記遊技店舗内に設置される一又は複数のフロア機器とが通信可能に接続された遊技店舗内現金管理システムであって、前記フロア機器は、前記フロア機器への現金の補充／回収操作を行う者の操作者 I D 情報を読み取る I D 読取手段と、該読み取った前記操作者 I D 情報に基づいて前記補充／回収操作の実行を許可する操作実行許可手段と、前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む情報を送信する送信手段とを備え、

前記売上金入金処理装置は、前記操作者 I D 情報を読み取る I D 読取手段と、前記フロア機器から送信される前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報を受信する受信手段と、前記受信した前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報を記憶する記憶手段と、操作／表示部とを備えるとともに、前記いずれかのフロア機器から回収した現金を前記売上金入金処理装置にて回収入金処理する際に、前記売上金入金処理装置の I D 読取手段で読み取られた前記操作者 I D 情報を手掛かりとして前記記憶手段に記憶されている前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報が前記操作／表示部に表示され、前記現金の回収後に入金処理を行うフロア機器が特定されると、該フロア機器から回収された現金の回収入金処理が行われ、該回収入金処理が終わると前記フロア機器の情報が前記記憶手段から消去されるように構成することによって達成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、本発明の上記目的は、前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報には、さらに時刻情報を含み、前記売上金入金処理装置が、さらに警報発報手段を具備し、前記記憶手段に残っている回収入金処理が未処理のフロア機器のうち、該フロア機器が操作された時刻から所定の時間が経過したものがあれば警報を発するように構成することによって効果的に達成される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

さらに、本発明の上記目的は、前記操作者 I D 情報と前記フロア機器の識別情報とを含む前記情報には、さらに時刻情報を含み、前記いずれかのフロア機器に対して現金を補充する操作を行う際に、前記売上金入金処理装置の I D 読取手段で読み取られた操作者 I D 情報、前記操作／表示部から入力された補充対象の前記フロア機器の識別情報及び補充金額、並びに前記入力時刻情報が前記記憶手段に記憶されるとともに、前記入力時刻から所定時間以内に、前記補充対象のフロア機器から、前記売上金入金処理装置で読み取られた操作者 I D 情報と同一の操作者 I D 情報、前記フロア機器の識別情報、及び前記フロア機器が操作された時刻の時刻情報が関連付けられて前記売上金入金処理装置に送信されなかった場合には警報を発するように構成することによって達成される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る遊技店舗内現金管理システムによれば、フロア機器の扉の開閉履歴（操作者・時刻）と D S P における入金／出金処理履歴が関連付けられて管理されるので、誰がどのフロア機器の扉を開閉したかという追跡が容易になり、フロア機器の現金回収・補充業務に関して違算が発生した場合に早期解決が見込めるという効果がある。

また、営業時間内において入金処理等に不作為があればアラーム発報を行うため、閉店後の売上金集計時までそれに気付かないということがなくなる。

さらには、回収入金の場合、開扉操作をしたフロア機器から D S P に機器の識別情報が送信されているので、D S P にて入金処理を行う際の機器選択ミスがなくなる。

またさらに、フロア機器への現金補充の場合、事前に D S P に入力されている機器とは違った機器に補充してしまうと、その機器から送信される機器識別情報と D S P に入力されている機器識別情報とが食い違うためアラームが発生し、迅速な対応が可能となる。